

ACCESS

| | | | | |
|----------|--------|-------|------------|-------------|
| 鴨川 | 至出町柳 | 平安神宮 | | 丸太町通 |
| | 神宮丸太町駅 | | | |
| 京阪電車 | 三条駅 | 三條京阪駅 | 地下鉄東西線 東山駅 | 至六地蔵・びわ湖浜大津 |
| | 冷泉通 | 美細物町 | ロームシアター京都 | 二条通 動物園 |
| 至渡辺橋・中之島 | 東大路通 | 神宮通 | 同崎通 | |

交通案内
 京都市バス
 ・「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ、
 ・「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車徒歩約5分、
 ・「東山二条・岡崎公園口」下車徒歩約10分

地下鉄東西線
 ・「東山駅」下車徒歩約10分

当館には駐車場がありません。岡崎公園駐車場(地下)をご利用ください。
 岡崎公園駐車場(地下)をご利用の有料入館者は、駐車場の割引(1台につき1回)を受けられますので、駐車券をお持ちの上お越しください。

MOMAK FILMS

お問合せ
 会場 **京都国立近代美術館**
 〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町
 TEL.075-761-4111 <https://www.momak.go.jp/films/>



彷徨の映画たち

Wandering Films

同時開催の展覧会
 生誕120年 黒田辰秋
 2024年12月7日(火) - 2025年3月2日(日)

02/22(土) 11:00-12:17
 02/23(日) 14:00-15:17

白薔薇は咲けど

(77分・35mm・白黒)
 1937(P.C.L.入江ユニット)
 監 伏水修 原 西條八十
 脚 東坊城恭長、田中千禾男
 撮 三浦光男 美山崎醇之輔 音 古賀政男
 出 入江たか子、佐伯秀男、沢蘭子、
 北村季佐江、水上怜子、宮野照子、清川玉枝、
 御橋公、江戸川蘭子

女優として初めて劇映画のプロダクションを立ち上げた入江たか子。本作は入江のP.C.L.に入社後に、入江ユニット作品として製作された。銀座の洋品店のお針子・篤子(入江)は、ひとりぼっちの休日、たまたま立ち寄った遊園地で見知らぬ男性(佐伯)と出会うが…。心理的な本当らしさを超越する伏水修のモダン極まる演出が、ロッセリーニ以降の現代映画をも彷彿とさせる名篇。残酷なまでにヒロインを照らす都市の光から、公園のうららかな光まで、撮影も冴えわたっている。



白薔薇は咲けど ©1937 TOHO CO., LTD.

02/22(土) 14:00-15:48
 02/23(日) 11:00-12:48

第七官界彷徨 尾崎翠を探して

(108分・35mm・カラー・英語字幕)
 1998(且々舎)
 監 浜野佐知 原 尾崎翠 脚 山崎邦紀
 撮 田中譲二 美 塩田仁、奥津徹夫、星慈恵子
 音 吉岡しげ美
 出 白石加代子、吉行和子、原田大二郎、
 柳愛里、白川和子、宮下順子

女性の主体的な性的欲望と行動を描き、300本を超えるピンク映画を監督した浜野佐知による初の一般映画。尾崎翠の代表作『第七官界彷徨』と断筆した後の戦前・戦中・戦後を描く。哀れな後半生という流布されていたイメージに抗し、白石加代子が尾崎を力強く演じる。高野悦子らによる支援など全国の女性たちからのカンパや、尾崎の地元・鳥取の人々の協力によって製作。国内外の女性映画祭などでも高い評価を得た。



第七官界彷徨 尾崎翠を探して ©且々舎

2025

MOMAK FILMS



MOMAK FILMS

上映作品は予告なく変更する場合があります。
 上映作品、各回のスケジュールについては
 京都国立近代美術館HPにてご確認ください。
<https://www.momak.go.jp/films/>

2024.05 - 2025.02

料金 | 1プログラム 520円(オンラインチケット)
 ・中学生以下は無料。
 ・心身に障がいのある方と付添者1名は無料(要証明)。
 ・当日に限り、本券でコレクション展もご覧いただけます。

定員 | 50席

開場 | 上映30分前

主催 | 京都国立近代美術館(MoMAK)、
 国立映画アーカイブ(NFAJ)



オンラインチケットの購入
 はこちらから



▶明日は日本軍靴

▶スクリーンマン Mercury Films

▶團栗と権の実

05.25
05.26

逃走者たち
1980年アメリカ映画特集

The Runaways

同時開催の展覧会
没後100年 富岡鉄斎
2024年4月2日(火)~5月26日(日)

05/25(土) 11:00-12:51
05/26(日) 14:00-15:51

タイムズ・スクエア

(111分・35mm・カラー・日本語字幕)
1980 [EMIフィルムズ/
ロバート・ステイグウッド・オーガニゼーション]
監・原 アラン・モイル 原 リーン・アンガー
脚色 ジェイコブ・ブラックマン
撮 ジェームズ・A・コントナー
美 ステュアート・ワーツェル
音楽プロデューサー ビル・オークス
出 ティム・カリー、トリニ・アルバロード、
ロビン・ジョンソン、ピーター・コフィールド

精神病棟で偶然出会った二人の少女が病院を抜け出し、NYで二人だけの生活を始める。ラジオ番組DJがこの事態に注目し番組で取り上げたことで、次第に街中を巻き込む騒動となっていく。音楽に生きる少女を主人公に、自分勝手な大人たちへの反抗を描くティーンムービー。ロキシー・ミュージックなど1970年代のバンドの音楽に彩られた音楽映画としても楽しめる。のちに『エンパイア・レコード』(1995)を監督するアラン・モイルの長篇第2作。



タイムズ・スクエア Studiocanal・Tamasa Distribution

05/25(土) 14:00-16:11
05/26(日) 11:00-13:11

スタントマン

(131分・35mm・カラー・日本語字幕)
1980(メルヴィン・サイモン・プロダクションズ)
監 リチャード・ラッシュ 原 ポール・ブローダー
脚 ローレンス・B・マーカス 撮 マリオ・トッシ
美 ジェームズ・ショップ 音 ドミニク・フロンティア
出 ピーター・オートール、
スティーヴ・レイルズバック、バーバラ・ハーシー

警察に追われる身のカメラマンは、戦争映画の撮影現場に遭遇。監督イーライの目に留まり、スタントマンとして雇われる。映画作りのためには犠牲を厭わないイーライの過激な演出に応え、カメラマンはスタントマンとして成長していくが……。ピーター・オートール演じる監督の狂気、弾薬をふんだんに使った激しいアクション、幾度も繰り返される印象的な音楽など、一貫して異様なテンションが支配する怪作にして、『フリービーとビーン大乱戦』(1974)などでも知られるリチャード・ラッシュ監督の代表作。



スタントマン Mercury Films

08.24
08.25

記憶の記録
物語とドキュメンタリー映画

Narrative and Documental Films

同時開催の展覧会
印刷 / 版画 / グラフィックデザインの断層
1957-1979
2024年5月30日(木)~8月25日(日)

08/24(土) 11:00-12:35
08/25(日) 14:00-15:35

團栗と椎の實

(29分・35mm・白黒) 1941(松竹大船)
監・脚 清水宏 撮 森田俊保
美 江坂寛 音 伊藤宣二
出 大塚紀男、横山準、大山健二、若水絹子、
大藤亮、末松孝行、古谷輝男

小森はるか監督セレクションのNFAJ所蔵作2本を上映。本作は、清水宏が長篇製作の合間に暇を見て監督した短篇子ども映画。都会育ちの気弱な男の子が、木登りできるようになるというシンプルな物語を、ロングを中心にしたみずみずしいショットと編集のゆるやかなリズムで描く。清水作品の魅力がきらめく名篇。

明日は日本晴れ

(65分・35mm・白黒) 1948(えくらん社)
監・脚 清水宏 脚 関澤新一 撮 杉山公平
音 伊藤宣二
出 水島道太郎、三谷幸子、國友和歌子、
日守新一、御庄正一

『蜂の巣の子供たち』(1948)に続く清水の戦後第2作。バス1台のみを使ってロケーション撮影という、戦前の『有りがたうさん』(1936)を想起させる設定だが、戦争や過去の出来事によって傷ついた人々がふとした仕草や台詞によって実存を輝かせるさまは比類なく、戦後の清水の新たな展開を示す重要作と言えるだろう。

08/24(土) 14:00-15:10
08/25(日) 11:00-12:15

ラジオ下神白

(70分・Blu-ray・カラー)
2023(ラジオ下神白)
監・撮・編 小森はるか 編・音 福原悠介
企・出 アサダワタル 出 下神白団地の住民さん

福島県いわき市下神白団地の住民の語る思い出を記録し、親しんだ音楽とともにラジオ風に編集してCDで届ける「ラジオ下神白」。2016年からこの活動を行っているアサダワタルさんやその仲間たちは、思い出の曲を歌い手のテンポにあわせて演奏するバンドを結成することに。原発事故で避難してきた下神白団地の方々と「ラジオ下神白」の、音楽の喜びに満ちた記録。

08/24(土) 15:15-15:45
小森はるか監督によるアフタートーク

08/25(日) 11:00-11:05
上映前に監督挨拶あり(約5分)



ラジオ下神白©KOMORI Haruka・Radio Shimo-Kajiro

11.23
11.24

「LOVEファッション-私を着がえるとき」
展開連上映
ファッションと映画

Fashion and Films

同時開催の展覧会
LOVEファッション-私を着がえるとき
2024年9月13日(金)~11月24日(日)

11/23(土) 11:00-12:52
11/24(日) 14:00-15:52

ピストルオペラ

(112分・35mm・カラー)
2001(『殺しの烙印ピストルオペラ』製作委員会)
監 鈴木清順 脚 伊藤和典 撮 前田米造
美 木村威夫 音 こだま和文 衣裳 長町佳奈子
出 江角マキコ、山口小夜子、韓英恵、永瀬正敏、
渡辺博光、加藤善博、柴田理恵、青木富夫、
加藤治子、沢田研二、平幹二郎、樹木希林

長篇映画としては10年の沈黙を経て、フィルム・アーティスト鈴木清順の復活を告げた一篇。殺し屋組織内の争いを描く点では日活時代の『殺しの烙印』(1967)の後日譚の趣を持つが、殺し屋たちの個性的なファッション、美術の絢爛たる色彩、シーンの飛躍、アクションの奇抜さなど観客の期待のさらに先を行く驚きに満ちている。主人公が着物姿となったのは、主演の江角マキコの提案。着物は昔の人の普段着で動きやすく、銃を隠す場所もあって手ぶらで動けると語っている。



ピストルオペラ ©2001/日本ビクター、松竹、衛星劇場、テレビ東京、電通、スパイク、小塚事務所

11/23(土) 14:00-15:53
11/24(日) 11:00-12:53

Playback

(113分・35mm・白黒)
2012(DECADÉ inc./ PIGDOM)
監・脚・編 三宅唱 撮 四宮秀俊
主題歌 大橋トリオ 衣裳 影山祐子
出 村上淳、渋川清彦、三浦誠己、河井青葉、
山本浩司、テイ龍進、汐見ゆかり、
小林ユウキチ、渡辺真起子、菅田俊

うだつの上がない俳優のハジ(村上淳)は、同級生の結婚式に出るため友人の運転で地元に戻る。居眠りして目が覚めると、制服姿の高校時代に時間が巻き戻っていた。『ケイコ 目を澄ませて』(2022)や『夜明けのすべて』(2024)でますます注目を集める三宅唱監督の商業映画デビュー作。人生に生きづまった男が過去に立ち戻るのだが、俳優はそのままに学ラン姿で高校時代を演じる。監督自身が驚きをもって振り返るように、村上淳の学ラン姿が似合っているのが本作のミソ。



Playback ©2012 Decade, Pigdom

2024

白薔薇は咲けど ©1937 TOHO CO., LTD.

国立映画アーカイブ所蔵作品選集

MONAKA FILMS

2024
05.25-26
08.24-25
11.23-24
2025
02.22-23